



動物行動学者が語る、
人間の身ぶりとしぐさの意味と
風習の文化史。

アートにみる 身ぶりとしぐさの文化史

デズモンド・モリス [著] 伊達淳 [訳]

B5変型判 320ページ オールカラー 定価(3,600円+税) ISBN 978-4-385-16250-8

- ベストセラー『裸のサル』をはじめ多くの著書がある動物行動学者デズモンド・モリスが、芸術作品に見られる人間の身ぶりやしぐさを研究・分析。膨大な知識に裏打ちされたユーモアあふれる文章は、読む者の知的好奇心を刺激する。
- 大判のハードカバーで、図版を大きく扱う贅沢な誌面構成。非言語コミュニケーションとしての身ぶりやしぐさに関心のある方、幅広い美術愛好家などへのプレゼントにも最適。

デズモンド・モリス

動物学者、動物行動学者、画家。主な著書に『裸のサル 動物学的人間像』（角川書店）、『マンウォッチング 人間の行動学』（小学館）、『ボディートーク 世界の身ぶり事典』（三省堂）ほか多数。

伊達 淳

翻訳家。モリス『サル その歴史・文化・生態』『フクロウ その歴史・文化・生態』（ともに白水社）、クラウス『野生のオーケストラが聴こえる』（みすず書房）ほか多数。

あくび

あくびとは奇妙な現象で、科学者たちも長年かけて謎を解き明かされてきた。あくびが「いつ」あるのかについては、何も不可解なところはない。寝て顔にならないのだから、まだそうするわけにはいかないこととあくびは異なる。うんざりしているときにもある。あくびとは、口をいっぴきに開ける動作と、大きく開けた口からいっぴきに息を吸って行く動作の組み合わせである。同じく、同時に目や鼻や喉を開く。あくびは脳が興奮する状態から起こる。目を閉じている状態で見ると自分もあくびをしているという感じがする。それが原因で興奮する状態も少なくない。

しかし、あくびをするときの状況やその動機はさっぱり。「なぜ」あくびが起るのかについてはほとんど解明されていない。たぐりんの空気を一気に肺に送り込むのは起るという説がある。しかし、あくびの音やあくびをする。目が閉じて目を閉じるように、同じような状態の人間を一度に驚かせるためだとする説もある。目が閉じていない動物もあくびをすることを考えると、誤り力に欠ける。3つの可能性は、あくびの本質は脳の興奮をほぐすことにある。その際に他の部位も興奮をすることになるというのだ。そうすれば目の動きが少し上がり、疲労感が軽減されるかもしれない。それならどうして目の筋肉のストレッチにしかかからない場合があるのか。あくびの目的は興奮を鎮めることだが、なかなか鎮まらない。しかし、自然なストレッチや興奮を鎮める効果のある人は他の人もあくびを見て自分もあくびをすることが多いという説がある。また、あくびは他人に伝わる。あくびをする人は興奮した状態を伝えようとしている。あくびをする人は興奮した状態を伝えようとしている。あくびをする人は興奮した状態を伝えようとしている。あくびをする人は興奮した状態を伝えようとしている。

た印象的な作品で、あくびをしている最中のスキネットの若者を撮っている。左側は1990年代初期にムーブメントとなったシネマ・グランドの撮影者一人で、実行を遂げた中絶の若者たちをテーマに撮影している。

2003年には、チリ出身の芸術家セバスティアン・エラスが「腹のない男」(裸み)と題した興味深いインスタレーションの一環として、ニューヨークのタイムズスクエアの電光掲示板を手がけている。一月の9日間、夜の11時30分から三分間、あくびをしている自身の顔と、自身の胸で約20のスクリーンに映し出したのだ。自らをめぐってスクリーンに映し出す20個の自分、その中には自分も映る。あくびをする瞬間を自らで撮る瞬間を自ら

見本ページ(縮小)



298 美術 | 複製 | 表紙



299 美術 | 複製 | 表紙



300 美術 | 複製 | 表紙



301 美術 | 複製 | 表紙

●有史以前の部族芸術や初期の宗教画、現代アート、民芸品、ストリートアートまで、幅広い芸術作品を対象とし、231点をオールカラーで掲載。特定のしぐさや身ぶりに関連づけて、時代も地域もさまざまな芸術作品が並ぶことで、見慣れた有名な作品にも新たな光があたる。

目次

はじめに

第1章 挨拶

呼びかけ(敬礼) / 握手 / 抱擁 / お辞儀とカーテシー / ひざまずく / 平伏

第2章 祝福

按手 / ローマカトリック教会と正教会の祝福 / 仏教の祝福 / ヴァルカンの祝福

第3章 ステータス

背すじを伸ばす / 指を三分割する / 手を隠す / 挑発する肘 / コッドピース / 足先を向ける / 腰を屈める / 自由な活動と汚れた都市部

第4章 侮辱

嘲笑する / 舌を突き出す / 鼻に親指をあてる / 指を使ったしぐさ / 手を使ったしぐさ / 腕をぐいと突き出す / 尻を見せる

第5章 威嚇

拳を振り上げる / 掴みかかる手 / 威嚇する表情 / 手袋で叩く / 象徴としての威嚇のしぐさ

第6章 苦悩

涙を流す / 悼む / 苦悶 / 恐怖 / 不快感 / 象徴的な苦悩

第7章 自己防衛

逃げる / 降伏する / 鎧 / 遮断 / ボディ・クロス / 腕を組む / アームズ・アキンボ / 指を十字に交差させる / 盾としてのコルヌータ / タトゥ / パール

第8章 エロス

ヌード / 女性の乳房 / イチジクの葉 / エロチックな抱擁 / エロチックなキス / 拘束

第9章 休息

足を組む / しゃがみこむ / もたれかかる / 横たわる / 揺らす / あくび / 眠る

参考文献 / 図版出展一覧 / 謝辞 / 索引

三省堂 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9412(営業) <https://www.sanseido.co.jp/>

注文書	NEW アートにみる身ぶりとしぐさの文化史		冊
	ISBN 978-4-385-16250-8 定価(本体3,600円+税)		
	お名前	お電話番号	
ご住所 〒			

三省堂

※必要事項をご記入のうえ、最寄りの書店へお申し込み下さい。お客様の個人情報は本書のご注文のみに利用し、目的外の利用はいたしません。